



だっこするよ

平成 30 年 12 月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台 1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

園は社会の交差点 地域社会との共生へ

師走とは思えない穏やかな冬の訪れをを迎えています。朝の玄関で可愛い姿を見かけます。赤ちゃんが生まれてママと同じようにお人形を前抱っこしてリュックを背負って登園してくる K ちゃん。少し揺すってあやす姿もママそっくり、こうして大人の姿をモデルにして役割遊びをしながらお姉さんである自分の自信を太らせていくんですね。朝の玄関でみんなから沢山の元気をもらっています。

この秋は、芸術の秋、出会いの秋でした。北区文化振興財団の訪問コンサートとしてマリンバ演奏のマレットさんをお招きして音楽会を開催しました。2歳さんから生の音楽にふれることが出来ました。勿論2歳さんは無理なく参加ということで途中静かに退場したお友だちもいましたが、最後まで集中して聴いていたお友だちもいました。そして、近くの赤羽北のぞみ保育園の4,5歳さん、フレーベル西が丘みらい園の5歳さんもお誘いしました。曲目も剣の舞いからディズニーメロディにアニメソングまで拍手したり歌ったり素敵な出会いでした。美しい音楽は心を豊かに肥やしてくれます。これからも芸術にふれる機会を作りていきたいと思いました。

年長組は、赤羽台西小4年生とのゴミ拾い大作戦に参加させて頂きました。4年生の総合の授業です。本番は、グループ別にそれぞれのコースを回りました。「こんな所にビールの缶があったよ」「テレビのリモコンもあったよ。」ゴミの種類と量の多さに驚いていました。小学生のお兄さん達と地域を回り、ゴミ拾いをした経験は、環境教育の一歩、小さな種となり、地域を大切にする市民へと育つと思います。後日、ゴミの測量をしてどの場所にどんなゴミが多かったのか表にして届けてくれました。

そして、赤羽岩淵中学2年生の職場体験、6名が来てくれました。最後の日に一人の男子生徒が、「僕、夢が変わりました。将来保育士を目指したいです。」と。「楽しかった。帰りたくない。」と泣き出す女子生徒もいました。5日間の日誌には、「3歳は面白過ぎる。」「直ぐに遊ぼうと言ってくれて嬉しかった。」「喧嘩が始まりドキドキしたけど5歳は自分たちで解決したからすごいと思った。」と。直ぐに信頼して遊び始める両者の姿は見ていて嬉しい時間でした。東京福祉大学1年10名の学生達も土曜保育体験に。自然観察公園でたっぷり遊びました。様々な年代の人々との豊かな出会いも「こどもたちの最善の利益」ですね。園は社会の交差点でありたいと思います。他園との交流を深めて私達の保育を見ていただくことは保育の質の向上につながります。地域に開かれた保育運営を行い、地域社会と共にある園を目指して参ります。今月は魚光さんのブリの解体ショーも行います。保護者の皆様も是非趣味や特技を隠さないで教えて下さいね。

利用者アンケートにて「2階の玄関が寒い」と御意見をいただきおりました2階玄関にエアコンを設置いたしました。少しでも送迎時にほっとしていただければと思います。御不便をおかけ致しました。

さて、クリスマスやお正月がやってきます。こどもたちにとって一年で一番嬉しい季節ですね。暮れの大掃除やお正月準備、そして初詣など生活する知恵や日本の文化を体験させてあげてください。小さな賢人たちはお手伝いが大好きです。ご家族でゆったりと暖かな時間が流れますように。今年も運営へのご理解とご協力誠に有難うございました。新しい年も平和で社会の宝であるこどもたちが伸び伸びと健康に過ごし、笑顔があふれる年でありますように。写真はゴミ拾い大作戦での写真です。